



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東名福

上場会社名 株式会社ブリヂストン

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 CEO 兼 取締役会長 (氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長 (氏名) 菱沼 直樹

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日

TEL 03-6836-3100

平成27年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----------|-----|---------|------|---------|------|---------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 1,855,494 | 6.0 | 237,792 | 6.6 | 232,990 | 5.9 | 144,650 | 1.7 |
| 26年12月期第2四半期 | 1,750,259 | 2.6 | 223,152 | 17.2 | 219,963 | 18.9 | 142,243 | 21.5 |

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 160,793百万円 (109.7%) 26年12月期第2四半期 76,663百万円 (△69.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第2四半期 | 184.69 | 184.45 |
| 26年12月期第2四半期 | 181.64 | 181.43 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-----------|-----------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 3,886,380 | 2,240,390 | 55.7 |
| 26年12月期 | 3,960,908 | 2,146,657 | 52.4 |

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,166,182百万円 26年12月期 2,075,685百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 40.00 | — | 60.00 | 100.00 |
| 27年12月期 | — | 60.00 | — | — | — |
| 27年12月期(予想) | — | — | — | 60.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,900,000 | 6.2 | 524,000 | 9.6 | 506,000 | 9.2 | 320,000 | 6.5 | 408.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|---------------|---------|---------------|
| 27年12月期2Q | 813,102,321 株 | 26年12月期 | 813,102,321 株 |
|-----------|---------------|---------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 27年12月期2Q | 29,883,587 株 | 26年12月期 | 29,965,086 株 |
|-----------|--------------|---------|--------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|---------------|-----------|---------------|
| 27年12月期2Q | 783,189,443 株 | 26年12月期2Q | 783,090,292 株 |
|-----------|---------------|-----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想については、平成27年2月17日に発表した予想を修正しております。当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。なお、詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 6 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 6 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| 四半期連結損益計算書 | 9 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 業績全般

| | 当第2四半期 連結累計期間 | 前第2四半期 連結累計期間 | 増減 | |
|--------|------------------|------------------|--------|----|
| | | | 金額 | 比率 |
| | 億円 | 億円 | 億円 | % |
| 売上高 | 18,554 | 17,502 | +1,052 | +6 |
| 営業利益 | 2,377 | 2,231 | +146 | +7 |
| 経常利益 | 2,329 | 2,199 | +130 | +6 |
| 四半期純利益 | 1,446 | 1,422 | +24 | +2 |

当第2四半期連結累計期間(2015年1月1日から2015年6月30日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は米ドル高が継続し、原油価格が低位に推移する中、国内においては、景気は、企業業績や雇用情勢に改善がみられるなど緩やかな回復基調が続きました。海外においては、政治・経済面において不安定な状況が継続しているものの、景気は、全体としては弱い回復が続きました。米国では個人消費の増加などにより着実な回復が続き、欧州においては持ち直しているものの地政学リスクの影響も見られました。また、アジアでは、中国において景気の拡大テンポがさらに鈍化するなど、減速の動きが見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成に向け、市場の需要動向や競合の動向を「先読み」し、技術優位性の強化やイノベーションの促進を通して、グローバルで高い競争力を持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、供給能力の増強、生産性の向上、経営資源の効率的活用、そして環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は18,554億円(前年同期比6%増)となり、営業利益は2,377億円(前年同期比7%増)、経常利益は2,329億円(前年同期比6%増)、四半期純利益は1,446億円(前年同期比2%増)となりました。

② セグメント別業績

| | | 当第2四半期 連結累計期間 | 前第2四半期 連結累計期間 | 増減 | |
|-------|------|------------------|------------------|------------|---------|
| | | | | 金額 | 比率 |
| タイヤ部門 | 売上高 | 15,552 億円 | 14,692 億円 | +860 億円 | +6 % |
| | 営業利益 | 2,170 | 2,020 | +150 | +7 |
| 多角化部門 | 売上高 | 3,116 | 2,888 | +228 | +8 |
| | 営業利益 | 206 | 210 | △3 | △2 |
| 連結 合計 | 売上高 | 18,554 | 17,502 | +1,052 | +6 |
| | 営業利益 | 2,377 | 2,231 | +146 | +7 |

タイヤ部門では、グローバルにおいて魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、前年同期の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響により、乗用車及び小型トラック用タイヤは前年同期を下回りましたが、トラック・バス用タイヤの販売本数は、新車用の増加影響もあり前年同期並に推移しました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を上回り堅調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を上回り好調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を上回り順調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期並に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を大幅に上回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を大幅に上回りましたが、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を大幅に下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は前年同期並に推移しました。

この結果、売上高は15,552億円(前年同期比6%増)となり、営業利益は2,170億円(前年同期比7%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は為替円安の影響により3,116億円(前年同期比8%増)となりましたが、営業利益は国内事業における利益減少の影響により206億円(前年同期比2%減)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、投資有価証券が184億円増加したものの、受取手形及び売掛金が653億円、原材料及び貯蔵品が100億円、流動資産その他が106億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ745億円減少し、38,863億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、未払法人税等が7億円増加したものの、未払金が692億円、長期借入金が494億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,682億円減少し、16,459億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより469億円、為替換算調整勘定が208億円、それぞれ減少したものの、四半期純利益の計上により1,446億円、その他有価証券評価差額金が258億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ937億円増加し、22,403億円となりました。その結果、自己資本比率は55.7%となり、前連結会計年度末に比べ3.3ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①前期実績との比較

当期の当社グループを取り巻く環境は、為替や原材料・素材価格の変動、不透明な世界経済や不安定な国際政治情勢により、引き続き注意深く対応していく必要があるものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿った施策を確実に実行することにより、以下の全体業績を見込んでおります。

[連結業績予想]

当期の連結業績予想

| | | 当期予想 (自 2015年1月1日 至 2015年12月31日) | 前期実績 (自 2014年1月1日 至 2014年12月31日) | 増減 | |
|-------|-------------|--|--|--------|-----|
| | | | | 金額 | 比率 |
| | | 億円 | 億円 | 億円 | % |
| 売上高 | | 39,000 | 36,739 | +2,260 | +6 |
| 営業利益 | | 5,240 | 4,780 | +459 | +10 |
| 経常利益 | | 5,060 | 4,632 | +427 | +9 |
| 当期純利益 | | 3,200 | 3,005 | +194 | +6 |
| 為替レート | 1米ドル 当たり | 120円 | 106円 | — | +13 |
| | 1ユーロ 当たり | 132円 | 140円 | | △6 |

②前回予想からの修正

当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益については、原材料・素材価格が想定を下回り推移したことや費用の抑制などにより前回予想を上回りました。併せて、2015年5月11日の第1四半期決算発表時点では見直しを行っていなかった下期業績予想の見直しを行い、通期業績予想について修正いたしました。

・業績予想に関する注意事項

当資料の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 (税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 2012年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 2012年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更すると共に、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産(「投資その他の資産」の「その他」に含めて計上)が14,472百万円減少、退職給付に係る負債が14,223百万円増加し、利益剰余金が18,729百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2014年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2015年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 390,444 | 398,856 |
| 受取手形及び売掛金 | 541,866 | 476,471 |
| 有価証券 | 149,239 | 143,669 |
| 商品及び製品 | 388,393 | 406,662 |
| 仕掛品 | 38,308 | 40,147 |
| 原材料及び貯蔵品 | 170,834 | 160,753 |
| その他 | 209,992 | 199,335 |
| 貸倒引当金 | △11,430 | △11,925 |
| 流動資産合計 | 1,877,649 | 1,813,970 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 527,171 | 536,437 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 543,765 | 538,883 |
| その他（純額） | 473,238 | 462,856 |
| 有形固定資産合計 | 1,544,174 | 1,538,177 |
| 無形固定資産 | 71,624 | 70,783 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 288,455 | 306,880 |
| その他 | 185,520 | 162,519 |
| 貸倒引当金 | △6,515 | △5,951 |
| 投資その他の資産合計 | 467,459 | 463,448 |
| 固定資産合計 | 2,083,258 | 2,072,409 |
| 資産合計 | 3,960,908 | 3,886,380 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2014年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2015年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 198,166 | 193,936 |
| 短期借入金 | 221,478 | 208,229 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 30,000 |
| リース債務 | 7,431 | 1,146 |
| 未払法人税等 | 46,489 | 47,225 |
| リコール関連引当金 | 7,894 | 3,439 |
| 未払金 | 191,240 | 122,027 |
| その他 | 303,497 | 299,297 |
| 流動負債合計 | 976,198 | 905,303 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 120,000 | 90,000 |
| 長期借入金 | 237,948 | 188,493 |
| リース債務 | 6,136 | 6,130 |
| 退職給付に係る負債 | 314,567 | 312,438 |
| その他 | 159,398 | 143,623 |
| 固定負債合計 | 838,051 | 740,686 |
| 負債合計 | 1,814,250 | 1,645,989 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 126,354 | 126,354 |
| 資本剰余金 | 123,008 | 123,027 |
| 利益剰余金 | 1,842,914 | 1,921,846 |
| 自己株式 | △56,367 | △56,218 |
| 株主資本合計 | 2,035,908 | 2,115,010 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 168,172 | 194,064 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,189 | △879 |
| 為替換算調整勘定 | 39,108 | 18,271 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △165,314 | △160,284 |
| その他の包括利益累計額合計 | 39,776 | 51,172 |
| 新株予約権 | 1,945 | 2,479 |
| 少数株主持分 | 69,026 | 71,729 |
| 純資産合計 | 2,146,657 | 2,240,390 |
| 負債純資産合計 | 3,960,908 | 3,886,380 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,750,259 | 1,855,494 |
| 売上原価 | 1,088,588 | 1,130,576 |
| 売上総利益 | 661,671 | 724,917 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売運賃 | 72,977 | 78,868 |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | 59,937 | 65,578 |
| 給料手当及び賞与 | 115,241 | 133,162 |
| 退職給付費用 | 9,587 | 13,252 |
| 減価償却費 | 13,910 | 15,253 |
| 研究開発費 | 44,503 | 46,515 |
| その他 | 122,360 | 134,494 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 438,518 | 487,124 |
| 営業利益 | 223,152 | 237,792 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,484 | 2,881 |
| 受取配当金 | 6,246 | 6,120 |
| 雑収入 | 10,919 | 9,166 |
| 営業外収益合計 | 19,649 | 18,168 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,396 | 6,216 |
| 為替差損 | 6,470 | 4,306 |
| 雑損失 | 8,970 | 12,448 |
| 営業外費用合計 | 22,838 | 22,971 |
| 経常利益 | 219,963 | 232,990 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5,210 | — |
| 投資有価証券売却益 | 3,316 | 10,162 |
| 特別利益合計 | 8,527 | 10,162 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 228,491 | 243,153 |
| 法人税等 | 81,844 | 92,755 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 146,646 | 150,398 |
| 少数株主利益 | 4,403 | 5,748 |
| 四半期純利益 | 142,243 | 144,650 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 146,646 | 150,398 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △32,369 | 25,880 |
| 繰延ヘッジ損益 | 650 | 765 |
| 為替換算調整勘定 | △43,616 | △19,845 |
| 退職給付に係る調整額 | 6,750 | 5,007 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1,399 | △1,411 |
| その他の包括利益合計 | △69,983 | 10,395 |
| 四半期包括利益 | 76,663 | 160,793 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 73,577 | 156,045 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3,085 | 4,747 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

| | タイヤ | 多角化 | 計 | 調整額 (注) | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|------------|-------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,467,468 | 282,791 | 1,750,259 | — | 1,750,259 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,732 | 6,062 | 7,795 | △7,795 | — |
| 計 | 1,469,201 | 288,853 | 1,758,054 | △7,795 | 1,750,259 |
| セグメント利益(営業利益) | 202,088 | 21,060 | 223,148 | 4 | 223,152 |

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

| | タイヤ | 多角化 | 計 | 調整額 (注) | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|------------|-------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,552,615 | 302,878 | 1,855,494 | — | 1,855,494 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,652 | 8,782 | 11,434 | △11,434 | — |
| 計 | 1,555,267 | 311,660 | 1,866,928 | △11,434 | 1,855,494 |
| セグメント利益(営業利益) | 217,090 | 20,699 | 237,789 | 3 | 237,792 |

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。